

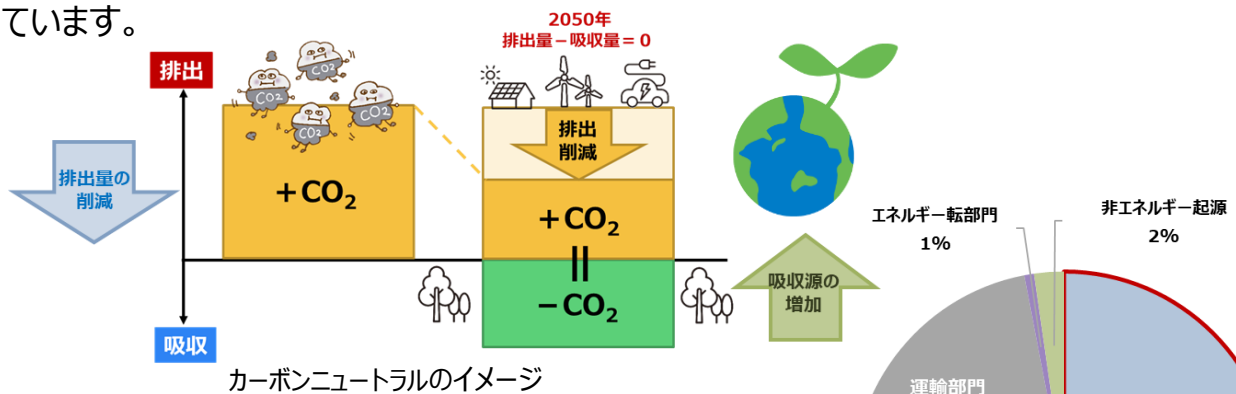
脱炭素に向けた事業者用ガイドブックを作成しました！

掲載内容の一部を紹介します。

香川県では、事業者における脱炭素化を推進して頂くための資料としてガイドブックを作成しました。脱炭素に向けた取組事例をたくさん記載しておりますので、どこから始めたら良いかわからない・・・という方にもわかりやすい内容となっております。事例を参考にして頂いたり、社内での教育ツール等にもぜひご活用ください！

脱炭素社会の実現

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向け、政府が、**2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現**を目指すことを表明し、脱炭素化が加速しています。カーボンニュートラルとは、二酸化炭素（CO₂）をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。



2050年カーボンニュートラルと整合的で、野心的な目標として、**2030年度にCO₂などの温室効果ガスを2013年度から46%削減**することを目標としています。

香川県では、**事業所からのCO₂排出量が約6割**を占めます。県でも、国と同様の削減目標を掲げ、脱炭素化の取組みを推進していくこととしています。

脱炭素に取り組むメリット

脱炭素の視点を経営に織り込むこと（脱炭素経営）は、単なる制約やコスト増加ではなく、リスク低減、成長のチャンスとして重要課題となってきます。自社だけではなく、原材料製造時や製品使用時なども含めたサプライチェーン全体での脱炭素化の動きも広まっています。

メリット

① コスト削減・利益アップ

② 競争力の強化

③ 社員の意識向上

④ 知名度・信頼度の向上

⑤ 資金調達に有利





脱炭素に向けたステップ



何から始めたらよいか分からない・・・という場合は、まず、脱炭素の必要性を確認したうえで、自社のエネルギー使用量を確認しましょう。エネルギー使用量からCO₂排出量が計算できますので、削減していくにあたって、まず現状を把握することが重要です。



- ① 脱炭素について知る
- ② 排出量を見える化
- ③ CO₂排出を削減する



どうやって減らすの？

見える化によって把握した自社のCO₂排出量を、削減していくことが必要となります。削減対策としては、主に【省エネ】、【再エネ】、【燃料転換】が挙げられ、取組みやすい対策から始めて中長期的に計画を立てて削減することが重要となります。

省エネ

運用改善や高効率機器の導入によりエネルギー消費量を削減

再エネ

太陽光発電など、CO₂を排出しない再エネ電気や熱の導入

燃料転換

ガス転換や電化など、よりCO₂排出量が小さいエネルギー種への転換

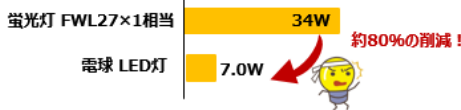
ガイドブック掲載例

省エネ 照明設備

② 高効率照明器具への更新等 設備導入

効率の良い設備への更新等により高効率照明器具(LED等)へ更新することにより、電気の消費量を大幅に減らすことができます。

消費電力量 比較 (例)



照明の点灯時間が長い場所ほど、照明をLED等の高効率照明器具に更新すると、省エネになります。遊離誘導灯については24時間点灯している機器なので、LEDへの更新すると効果が高いです。

導入効果

コスト削減金額
331千円/年
CO₂削減量
6.4 t-CO₂/年
投資金額
1,240 千円
投資回収年数
3.7 年
診断事例：ホテル

<前提条件>
蛍光灯80台をLEDに交換 (例：34W→7.0W)
点灯時間 365日×24時間/日×点灯率70%

導入効果もあわせて、わかりやすく事例を紹介しています。



ガイドブックは、県ホームページをご覧ください！

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyoseisaku/chikyusaving/jigyoku/kfvn.html>

【お問い合わせ先】

香川県環境森林部環境政策課
カーボンニュートラル推進室 計画推進グループ
〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号
TEL：087-832-3216 FAX：087-806-0227

